



# クローバー動物病院

だより 第17号



今回は、歯周疾患(ししゅうしっかん)②についてです。

## 歯周疾患(ししゅうしっかん)②

歯周疾患の予防や維持管理には、動物病院の歯科処置としてのケアと飼主さんによるホームケアがあり、どちらも大切です。ホームケアなしに歯周疾患の管理は難しいといわれています。

### ホームケア

#### 1 口腔ケア製品

##### 1) ブラシ、ペースト(歯磨き粉)

歯周疾患の予防には**ブラッシングが基本**です。適切なブラッシングにより歯と歯肉の境目内のプラークを除去できます。

☆**歯ブラシ**…軟らかく、ヘッドの小さいもの。イヌ・ネコ専用のものも市販されています。

☆**ガーゼ、手袋**…歯ブラシの前段階として使用したり、歯ブラシを受け入れないイヌ・ネコにも有効です。

☆**ペースト(歯磨き粉)**…動物用が最良ですが、ヒトの子供用でも一時的に代用可能です。大人用は×。

##### 2) デンタルジェル、スプレー

###### ☆亜鉛アスコルビン酸塩

…コラーゲン産生促進、歯垢減少、歯肉の炎症の減少、潰瘍組織の治癒促進があるといわれています。

こちらの商品は、動物病院で販売されています。

余談ですが...

# イヌとネコの歯は何本？

永久歯の場合（生後4～5ヶ月のとき乳歯が抜けて永久歯になります）

○イヌ…上の歯が20本  
下の歯が22本 } 合計42本

○ネコ…上の歯が16本  
下の歯が14本 } 合計30本

※機嫌のいいときにでも、口の中をのぞいてみてはどうでしょう？



# < 歯周疾患の経過 >



▲ 正常



歯肉の炎症  
が、歯を  
支えている組織  
に及ぶ

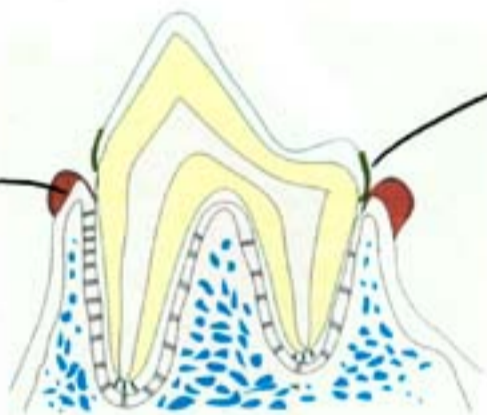


歯周ポケット

▲ 軽度歯周炎



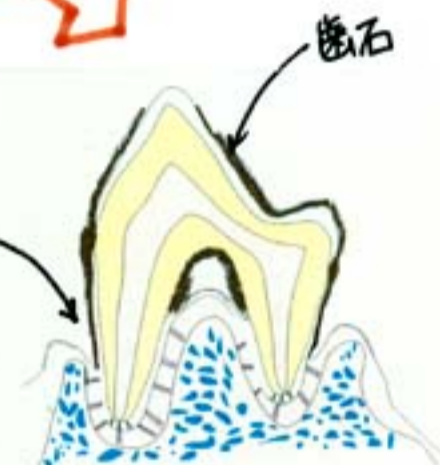
歯肉のみに  
炎症が  
起きます



▲ 歯肉炎

プラーク  
や  
歯石

歯を支え  
ている組織  
が炎症で  
破壊され、  
歯周ポケット  
が深くなり  
抜けやす  
な歯



歯石

▲ 重度歯周炎

**ステップ2**：歯に触ることに慣らす。指に好物の味を付けて歯に触る。

**ステップ3**：歯ブラシに慣らす。歯ブラシやぬれたガーゼで少しずつ歯に触る。好物を付けて舐めさせてもよい。

**ステップ4**：ブラッシングに慣らす。ブラッシングしやすい犬歯や前歯から行い、徐々に全体の歯をブラッシングする。ブラッシングの時間も徐々に増やしていく。歯と歯肉の境目に対して45度程度の角度を付けて、前後にブラッシングする。

### 3 食事

#### 1) 食生活・食べ方

歯周疾患は食生活（食べ方、おやつ、食事内容）に密接に関係しています。よく噛むことで、唾液分泌が促進され、口腔内の汚れが少なくなり、歯周疾患の予防になります。噛まずに飲み込むような食べ方であるとプラークが研がれません。

#### ☆適正な食事やおもちゃ

…噛む回数が増えれば、プラークや歯石の付着は、少なくなります。

#### ☆ドライフードと缶詰

…柔らかい食事は歯の表面や歯と歯肉の境目に付着し、歯垢の原因になりやすいです。硬めの食事は食べにくいいため、より唾液分泌を促進し、物理的な研磨作用が期待できます。したがって、ドライフードは缶詰に比べプラークは付きにくいといえます。

#### ☆ドライフードの形状

…形状が大きい方が噛む回数が多くなりますが、のどに詰まらせないように注意します。



### 3) 噛むためのその他の製品

デンタルロープ、コング、デンタボーンなどの製品を噛んでいる場合、歯石の付着量が少ないといわれていますが、**完全な予防効果があるわけではありません**。歯と歯肉の境目内のプラーク除去に対しては不十分です。

## 2 ブラッシング

### 1) ブラッシングの頻度

毎食後がいちばん良いですが、実際には**3日に一度でも維持が可能です**。しつけの一環として行うことが望ましく、できれば毎日少しずつ慣らしながら行い、**必ず褒めてあげるようにします**。

### 2) ブラッシングの基本方針（ネコもこれに準じます）

まず、**ブラッシングを楽しい習慣にすることが重要**です。イヌが**喜ぶイベント（散歩や食事など）の直前に行い**、歯ブラシをみたら喜ぶような条件反射をつけるといいでしょう。イヌが嫌がることはせず、飼主さんも行いやすいことから少しずつ始めます。**始めからブラッシングを長く行ったり、無理やり口を開けたりしません**。

イヌがブラッシングをさせない場合は、怒らずにイベントやご褒美を中止します。イヌが嫌がることを強制すると、その後ブラッシングをさせなくなるので、いったん中止した後しばらく経ってから、再度簡単なことから行ってみます。

### 3) ブラッシングの実際の方法

ひとつのステップに数週間かけてもいいですが、**毎日のように続けることが重要**です。

**ステップ1**：口に触ることに慣らす。口を開けずに唇をめくる。  
触るだけにとどめ、すぐに褒める。